



愛媛縣護國神社御本殿

昭和14年当時の愛媛縣護國神社



### 終戦七十年の節目の年を迎えて

#### 御祭神数

本年四月九日の霊璽奉安祭に御鎮祭  
 申し上げた御祭神は一柱。総御祭神柱数  
 は、四万九千七百二十七柱となります。

宮司 額田 照彦

本年八月十五日は「大東亜戦争終結」から  
 七十年の極めて意義深い年を迎えます。

先の大戦に対する解釈の如何を問わず、御  
 霊が日本国のために戦地に赴き、国のために  
 散華したことは、誰も異論をさしはさむ余地  
 はございません。現在の日本の繁栄の礎とな

られた英霊の記憶や、戦争体験自体の風化が  
 懸念される今日、国のために尊い命を捧げ散  
 華された英霊を、未来永劫慰霊顕彰に努める  
 のは当然のことでございます。

現在我が国においては「我が国伝統の倫理  
 道徳に関する教育」が軽視されていますが、  
 明治二十三年十月三十日に渙発されました教

育勅語は、日本人が祖先から脈々と受け継い  
 できた、豊かな感性と美德が表され、人が生  
 きていく上で心がけるべき徳目が記されてい  
 ました。

しかし戦後「教育勅語」が排除された結果、  
 我が国の倫理道徳観は著しく低下し、極端な  
 個人主義が横溢し、殊に最近においては教育  
 現場はもとより、地域社会・家庭においても  
 深刻な問題が多発している今日、今こそ私た  
 ちは教育勅語の精神を再認識し「道義の国日  
 本」の再生、また世界に誇れる日本の素晴ら  
 しい伝統・文化の伝承再生こそが、今我々に  
 課せられた最も重要な責務だと思えます。

先にも述べましたように今年には終戦七十年度の節目の年を迎えます。

当神社もこの節目の年に「終戦七十年記念事業」を計画しております。本殿の一部改修工事・齋館改修工事・神橋改修工事・祈念史料室の設置等を予定しております。殊に「祈念史料室」の設置に関しましては、御遺族の高齢化・戦友会の解散が進むなか、また遺児の皆様の平均年齢も七十五歳を超える今日、愛媛県遺族会の皆様にご支援・ご協力をを賜り、遺品・ご家族への手紙等の展示、また正しい歴史を後世に伝えるべく充実した施設の設置等を計画しております。

また、当社には正月をはじめ、年間を通して多数の老若男女の参拝者で賑わいます。こうした多くの方々にも是非祈念史料室を拝観頂き、また地域でも活用して頂き、更なる英霊の奉慰顕彰に努める所存でございます。今後とも御遺族の皆様をはじめ、友好諸団体の皆様方の絶大なるご支援・ご協力を賜り、「終戦七十年記念事業」を成功裡に終わらせたく、重ねて御願ひ申し上げます。

## 領海の警備について

愛媛縣護國神社崇敬会

会長 愛原

章



昨年話題になった、小笠原諸島での中国船多数による珊瑚の密漁ですが、領海を侵犯しての密漁をみすみす見逃す日本側の措置には驚き、腹立たしく思いながらテレビから流れる映像を見ていました。海上保安庁の巡視船が数隻出動はしていましたが、海上自衛隊の艦船は全然動かさず、自衛艦はいったい何をするためにいるのかと、不思議に思った方は、私だけではなかったと思います。

その後、「日本の自衛艦が出動すると、中国も同様の措置をとるから出せないのだ」といった話を聞いて、不甲斐ない国だと腹立たしく、口では勇ましいことを言う人もいるが、

どこか間の抜けた思いやりがあるようで、これでは国民は守れないと痛感した次第です。そこでこの際種々の法律を改め、海上保安庁は沿岸警備を任務とし、海上自衛隊は外洋と領海を守るのが任務と、はっきり警備の分担を決めるべきではないかと考えます。

今後、豊富な海底の資源を開発し、更にこれを活用する時代がやって来ます。早めに海の守りを堅くし、国益を損なわないように配慮することが大切です。

広大な領海を守るためには、多額の費用がかかりますが、資源の価値を思えば、投資するだけの値打ちがあります。小回りの利く優秀な艦艇を沢山建造し、自衛官を訓練して、急いで海上の警備体制確立に取り組むべきです。拉致やミサイル、そして麻薬の密輸等も決して見逃してはなりません。

戦後七十年を契機に、米軍の核に守られながらここまでやって来た現状を反省し、日本はポツポツ、自立の道を考える時期に来ていると思います。今の平和と自由を守り続けるためにも、親離れの時を考えるべきでしょう。未来永劫、米国と今の関係を続けることは不可能だと思います。

広い海に目を向けて、先ずはこの国の領海を、しっかりと守ることから始めて欲しいと考えています。

# 終戦七十年、平和を追求

愛媛県遺族会

会長 関谷勝嗣



昭和二十年の終戦から七十年という大きな節目の年になります。

現在の日本の繁栄と自由が、多くの戦没者の尊い犠牲の上に成り立っていることを国民は決して忘れてはならないと思います。

英霊に報いるためにも遺族会は、戦争の教訓である戦争の虚しさや平和の大切さを次の世代に語り継ぎ、二度と戦争を起こさないようにならなければなりません。

明治三十二年創建の愛媛縣護國神社には、先の大戦の県下の英霊など約四万九千柱が祭

神として祀られており、四月十日と十月十日に春季、秋季慰霊大祭を斎行していただいております。

「国家のために尊い命を犠牲にした戦没者を、国を挙げて手厚く慰霊して欲しい」というのが遺族に共通した願いであり、それをしっかり受け止めていただいているのが護國神社です。

かつて護國神社は国の管理下でありましたが戦後、政教分離の謳い文句のもと、国の支援は一切なく、神社自体の運営になりました。したがって、皆さんのご支援がなければ成り立ちません。

終戦七十年を転機に愛媛縣護國神社英霊顕彰会を設立いたしました。

神社が「終戦七十年記念事業」として、本殿、齋館、神橋の改修等を行うことになりましたので、同時に神社内に祈念史料館を設け、ご遺族がいつこられても御霊にお目にかかれるように、遺影等を保存いたします。

遺族会は、未来永劫、御霊の慰霊に努め、戦没者遺族に対する処遇は、国家補償の理念のもと福利向上を強く求めてまいります。

愛媛縣護國神社と愛媛県遺族会は、運命共同体というべき関係です。「終戦七十年記念事業」に積極的に協力することが、遺族会の責務であると考え、今後も神社との連携を一層深め、組織の強化と健全化に努めてまいりますと存じます。

愛媛県遺族会会長を務めて十五年になります。私の父（関谷勝利）が昭和二十一年から十一期三十年間、衆議院議員として国政に参画し、戦没者遺族の処遇改善に熱心だったのを思い出します。

愛媛県民の皆さんの心温まる遺族に対するご支援をお願いいたします。



愛媛縣護國神社英霊顕彰会

『遺族会等による慰霊祭』

平成二十六年

十月五日 公益社団法人 愛媛県隊友会

十月十一日 今治市関前支部遺族会

十一月十七日 今治市伯方町遺族会

十二月五日 愛南町遺族会城辺支部

十二月六日 西条市楠河遺族会

平成二十七年

三月十四日 西予市遺族会宇和支部

三月十四日 西条市小松地区遺族会

三月十四日 西予市遺族会城川支部

三月十七日 今治市上浦町遺族会

三月二十日 大洲市支部肱川遺族会

三月二十四日 西予市遺族会三瓶支部

〔奉納者並びに寄贈図書〕

一、『楠公回天祭』—楠公回天祭五十年誌—

岐阜県大垣市

回天楠公社奉賛会事務局

橋本秀雄様

一、『私の主張』—夢のある未来へ—

愛媛県松山市河原町

愛媛県議会議員 横田弘之様

一、『別冊正論 大解剖靖國神社』

京都市左京区高野蓼原町

京都靈山護國神社清掃奉仕の会

代表 山中浩市様

一、『帝国海軍と艦内神社』

京都府八幡市男山泉

大阪国際大学講師

日本国史学会事務局長 久野潤様

一、『日本神道の幸福論』

『広島大水害と御嶽山噴火に天意はあるか』

愛媛県松山市保免西

幸福の科学松山支部支部長

露口礼子様

〈永代祭祀料基金奉納者御芳名〉

平成二十七年 一月

一、貳万円也 西条市飯岡 高木博文様

献茶菓奉仕者(茶道裏千家淡交会松山支部)

佐野宗知社中 松山市東石井

浅井宗直社中 松山市余戸東

献花奉仕者(愛媛県華道会)

聴 春 流 松山市二番町

聴 春 流 松山市二番町

敬神婦人会代表献奉仕者(愛媛縣護國神社敬神婦人会)

八幡浜市敬神婦人会 八幡浜市保内町鼓尾 上向 幸子

北宇和郡敬神婦人会 北宇和郡鬼北町奈良 堤 忠子

献吟奉仕者(愛媛県吟詠詩舞総連盟)

九日(靈鹽奉安祭・宵宮祭)

清吟堂吟友会 藤岡江心

清吟堂吟友会 大窪柳屋

尺八献奉者 金本磐清

清吟堂吟友会 横野嵐将山

十日(大祭)

清吟堂吟友会 日浦嗺子

清吟堂吟友会 寺尾静咲

清吟堂吟友会 神崎江彩

尺八献奉者 横野嵐将山

清吟堂吟友会

献誦奉仕者(愛媛縣護國神社献誦会)

九日(靈鹽奉安祭・宵宮祭)

「献誦」

村井安夫以下有志一同

平成二十六年(十月)秋季慰霊大祭奉仕者

(敬称略)

遺族会代表献奉仕者

女性部 伊予市市場 仲田チトミ

遺 児 伊予市下吾川 日野正則

正式参拝

☆平成二十六年十月十七日

マンゴー会  
会長 松尾 敏一様

計二十名

☆平成二十六年十一月二十八日

愛媛県神社庁松山支部総代会  
注連縄縫製  
総代会長 安永 成様

計九十名

☆平成二十六年十一月三十日

後継者・慰霊巡拝参加者等及び  
女性部と英霊研修会  
愛媛県遺族会  
会長 関谷 勝嗣様

計二百名

☆平成二十六年十二月二十七日

ミツワ都市開発  
社長 佐伯 教義様

☆平成二十七年一月一日

都山流尺八中予幹部  
会長 西田 仙秋山様  
計十五名

☆平成二十七年一月一日

愛媛県隊友会  
会長 瀬川 紘一郎様  
計四十名

☆平成二十七年一月三日

伊豫豆比古命神社  
宮司 長曾我部 延昭様  
計三名

☆平成二十七年一月七日

特別養護老人ホーム久谷荘  
双葉友の会  
会長 松本 美枝子様  
計三十名

☆平成二十七年一月二十九日

愛媛県神道青年会  
会長 清家 貞文様  
計十一名

☆平成二十七年二月十日

大興産初詣ツアー  
代表 橋詰 義男様  
計三十名

☆平成二十七年二月十日

沖繩愛媛の塔慰霊祭並びに波照  
間島の旅参加者  
愛媛県遺族会  
会長 関谷 勝嗣様  
計二十九名

☆平成二十七年三月五日

靖國神社  
主典 岡村 恵太様

☆平成二十七年三月十四日

英霊にこたえる会中央本部  
副会長 國松 善次様

☆平成二十七年三月十五日

ときみつる會  
代表 宮澤 潔様  
計十五名

☆平成二十七年三月十六日

廣島護國神社  
宮司 藤本 武則様  
岡山縣護國神社  
宮司 奥西 道浩様

☆平成二十七年三月二十四日

四国四県神社関係者大会  
愛媛県神社庁  
庁長 十亀 興美様  
計二十名

☆平成二十七年三月二十四日

愛媛県神社庁新居支部  
支部長 武智 正人様  
計三十六名

☆平成二十七年三月二十四日

愛媛県神社庁宇摩支部  
支部長 近藤 純夫様  
計二十二名



## 愛媛縣護國神社終戦七十年記念事業奉賛のお願い

愛媛縣護國神社は、明治三十二年の創建以来戊申の役から大東亜戦争終結までの県内御出身の英霊をはじめ、産業文化発展の功労者、公務殉職者を奉斎致しております。

本年八月十五日に終戦七十年を迎えるにあたり、境内整備として記念事業を計画致しております。然し乍ら本事業完遂には総額三億円を超える多額の御浄財を要します。つきましては厳しい社会情勢の中、誠に心苦しい御願いで御座いますのが、御霊の安鎮と平和の尊さを次世代に伝えるため、多くの皆様方の御篤志を仰ぎたく何卒御協力賜りますようお願い申し上げます。

愛媛縣護國神社宮司 額 田 照 彦

詳しくは、社務所へお問い合わせ下さい。

愛媛縣護國神社社務所

〒七九〇—〇八二四

松山市御幸一丁目四七六番地  
電話(〇八九)九二五—二三五三